

# アンケート 1

## 佐世保高専 J A B E E アンケート（専攻科修了生）

### 1 調査の目的

本プログラムの「学習・教育到達目標」の各項目について、本校の技術者教育プログラムを修了した学生（専攻科修了生）が実際にその能力を身につけているか（「学習・教育到達目標」を達成しているか）を自己評価していただき、その結果を本プログラムの教育改善に資する。

### 2 調査対象修了生 103名

平成21年3月から平成25年3月専攻科修了生で、住所が把握できる者

### 3 調査方法及び調査時期

(1) 調査方法 アンケート用紙及び返信用封筒を郵送

(2) 調査期間 平成26年4月23日（水）～平成26年6月13日（金）

### 4 回答数 35件

佐世保高専専攻科修了生自身の能力についてお尋ねいたします。結果は5段階に分けておりますので、どれに該当するかを選択して下さい。目安として点数に直すと次のようになります。

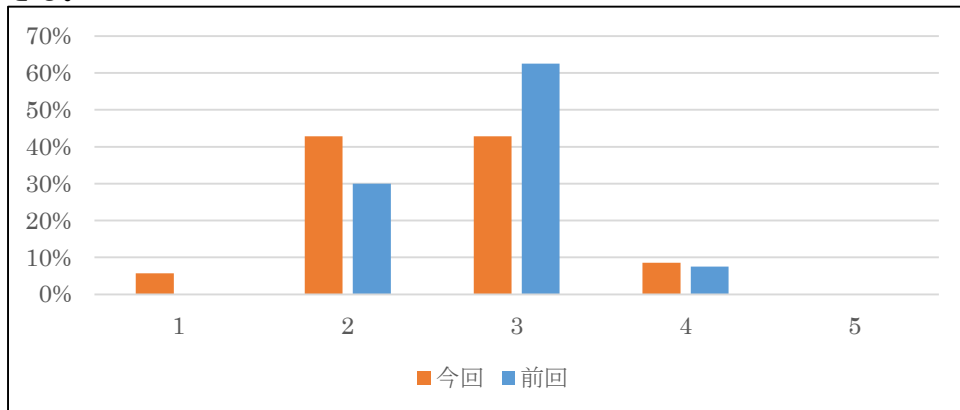
（非常に高い：80点以上，高い：70点台，普通：60点台，やや不足：40-59点，不足：39点以下）  
各設問に当てはまる項目の枠内を塗りつぶして下さい（□→■）。

※「前回」は、平成20年度実施分を指す。

JABEE アンケート（修了生） ※「前回」は平成20年度実施分を指す。

### A-1-1

数学（微分積分学、線形代数、微分方程式、確率・統計など）の基礎知識を身につけて、工学的諸問題の解決に応用できる。

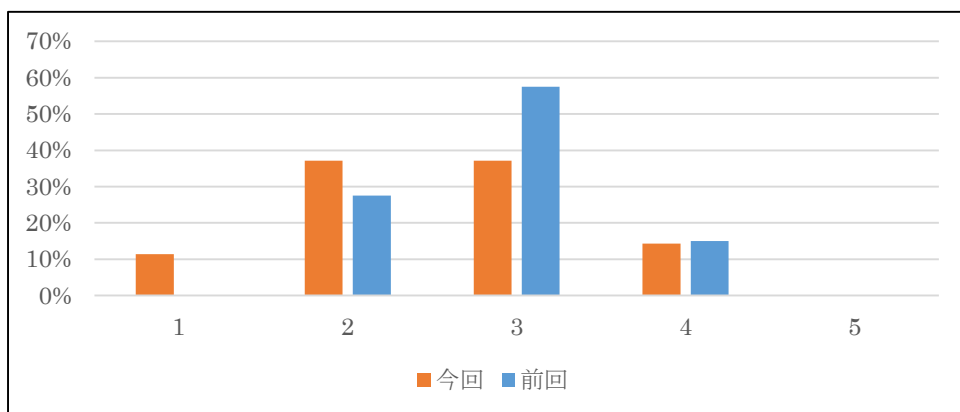


「1：非常に高い」と「2：高い」が前回の30%から49%へ大きく増加し、約半数の学生が数学の基礎知識を工学的諸問題の解決に応用できる能力が身についたと評価している。  
また、「4：やや不足」と「5：不足」は前回の7%から9%へ僅かに増加しているが、低水準を維持している。

1：非常に高い 2：高い 3：普通 4：やや不足 5：不足

### A-1-2

自然科学（物理、化学など）の基本知識を身に付けて、工学的諸問題の解決に応用できる。

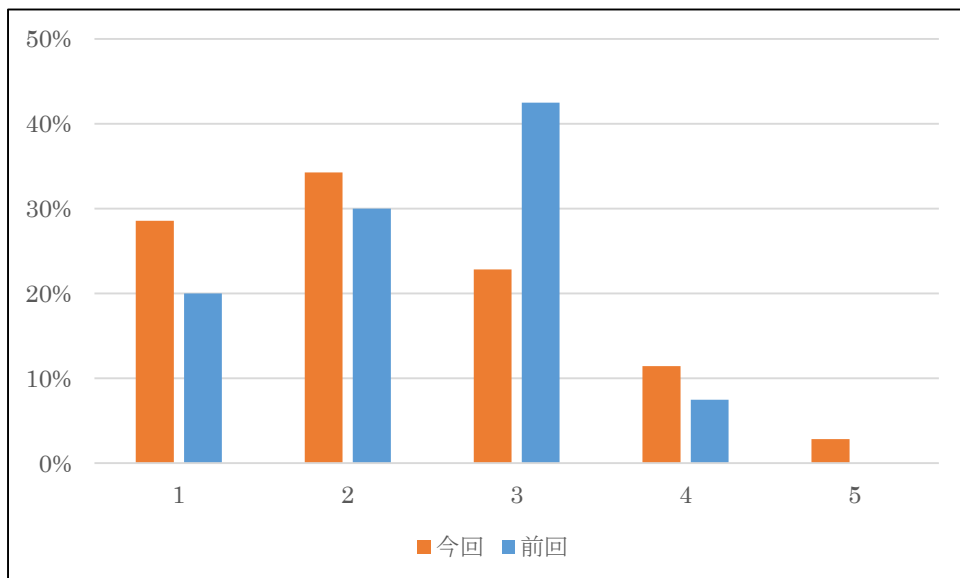


「1：非常に高い」と「2：高い」が前回の28%から48%へ大きく増加し、約半数の学生が自然科学の基礎知識を工学的諸問題の解決に応用できる能力が身についたと評価している。  
また、「4：やや不足」と「5：不足」は前回の15%から14%へ僅かに減少しており、改善の傾向にある。

1：非常に高い 2：高い 3：普通 4：やや不足 5：不足

### A-2

情報技術の基本知識を身につけて、情報収集、実験データの解析・評価のツールとしてコンピュータを活用できる。

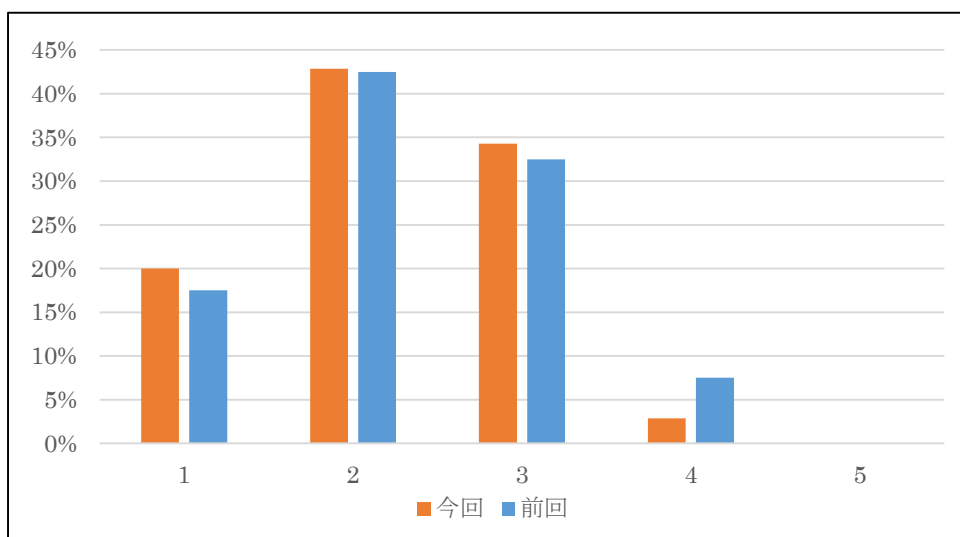


「1：非常に高い」と「2：高い」が前回の50%から63%へ大きく増加し、コンピュータを活用できる能力が身についたと評価している。  
また、「4：やや不足」と「5：不足」は前回の8%から14%へ増加したが、低水準を維持している。

1：非常に高い 2：高い 3：普通 4：やや不足 5：不足

### A-3

基礎工学の知識を身につけて、複合化したもの創りの実務における工学的諸問題の解決に応用できる。

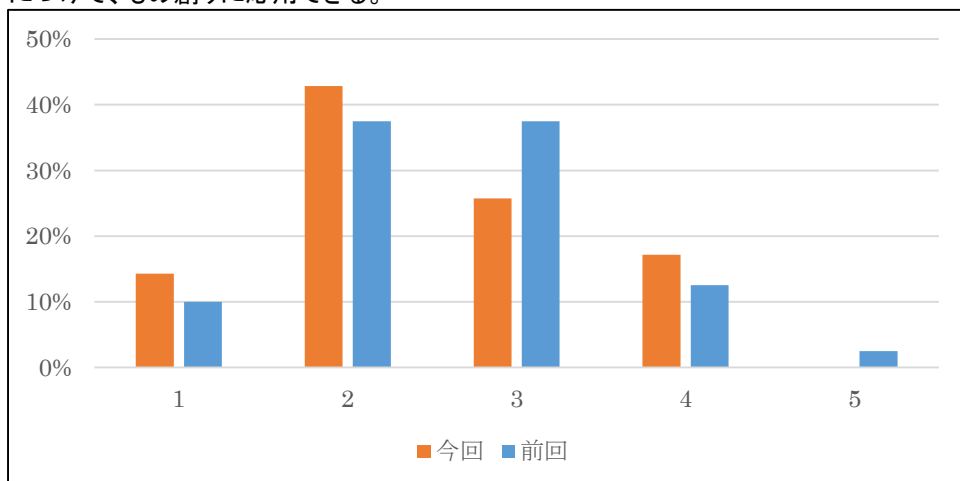


「1：非常に高い」と「2：高い」の肯定的な回答が前回の61%から63%へ僅かに増加し、基礎工学の知識を工学的諸問題の解決に応用できる能力が身についたと評価している。  
また、「4：やや不足」と「5：不足」は前回の18%から7%へ大きく減少し、改善の傾向にある。

1：非常に高い 2：高い 3：普通 4：やや不足 5：不足

### A-4

それぞれの専門分野におけるもの創りのための4つの専門科目群(材料・要素・設計・製造・評価・解析、複合系)の知識を身につけて、もの創りに応用できる。

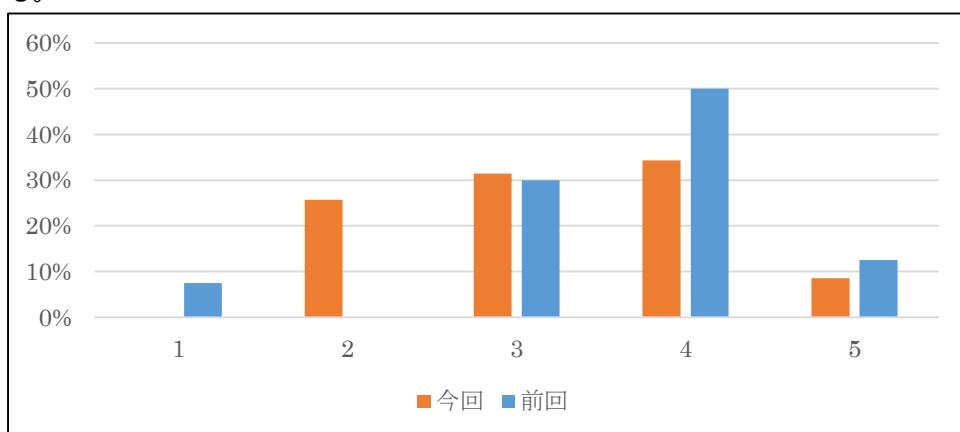


「1：非常に高い」と「2：高い」が前回の48%から57%へ増加し、半数以上の学生が4つの専門科目群の知識をもの創りに応用できる能力が身についたと評価している。  
また、「4：やや不足」と「5：不足」は前回の16%から17%へ僅かに増加しており、改善が必要である。

1：非常に高い 2：高い 3：普通 4：やや不足 5：不足

### B-1

他の国の歴史的・文化的背景や国際問題に関する基礎知識を身につけて、グローバルな視点でものごとを考えることができる。

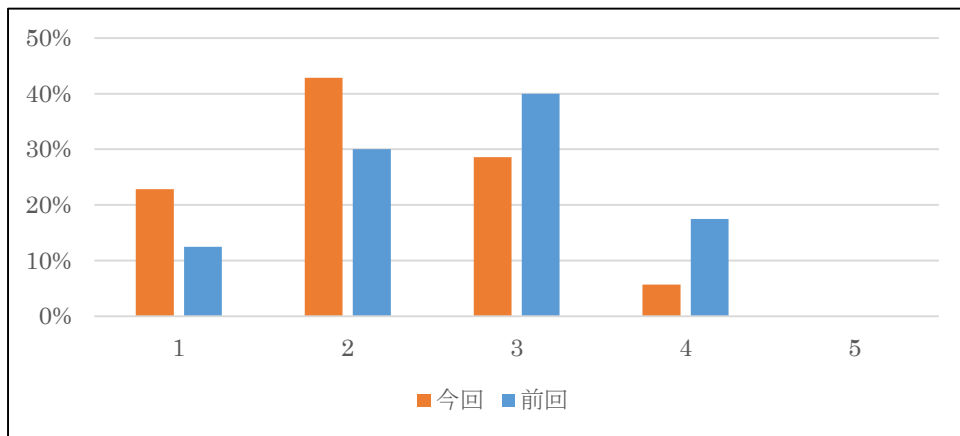


「1：非常に高い」と「2：高い」の肯定的な回答が前回の8%から26%へ大きく増加し、グローバルな視点でものごとを考えることができる能力が身についたと評価している。  
また、「4：やや不足」「5：不足」の否定的な回答が前回の63%から43%へ減少したものの、依然肯定的な割合を上回っているため、重点的な対策が必要である。

1：非常に高い 2：高い 3：普通 4：やや不足 5：不足

## B-2

技術が自然や社会に与える影響・効果を理解して、技術者としての責任を自覚できる。

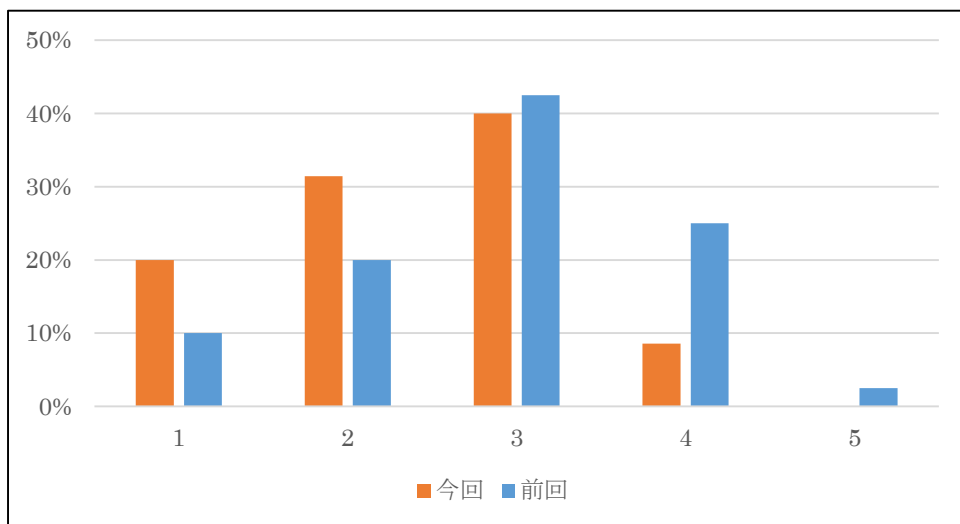


1：非常に高い 2：高い 3：普通 4：やや不足 5：不足

「1：非常に高い」と「2：高い」の肯定的な回答が前回の43%から66%へ大きく増加し、技術が与える影響を理解し技術者としての責任を自覚できる能力が身についたと評価している。また、「4：やや不足」と「5：不足」は前回の18%から6%へ大きく減少し、改善の傾向にある。

## C-1

技術的な内容を日本語により文章や口頭で論理的に説明できる。

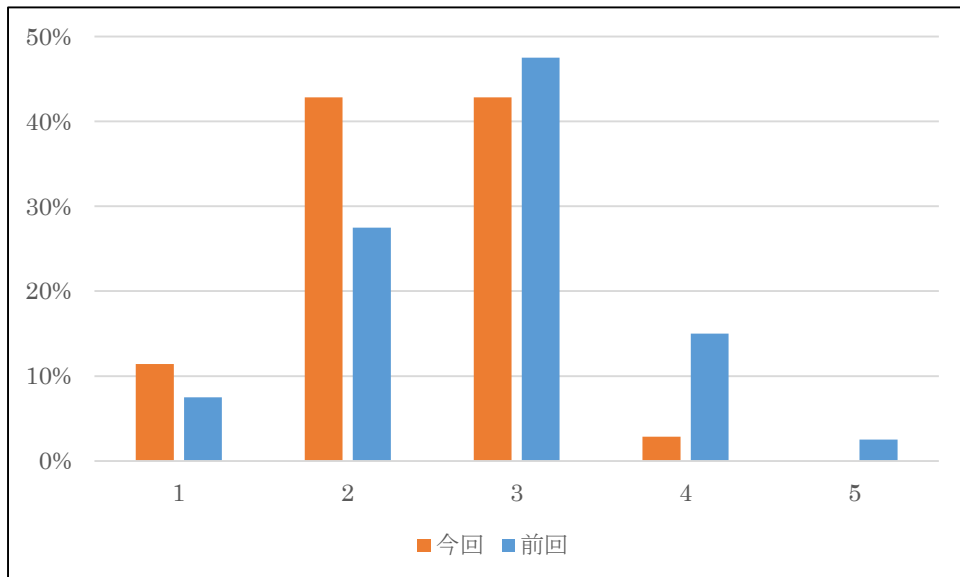


1：非常に高い 2：高い 3：普通 4：やや不足 5：不足

「1：非常に高い」と「2：高い」が前回の30%から51%へ大きく増加し、半数以上の学生は日本語による論理的な説明ができる能力が身についたと評価している。また、「4：やや不足」と「5：不足」が前回の28%から9%へ大きく減少し、改善の傾向にある。

## C-2

相手の質問や意見を聞いて日本語で適切に答えることができる。

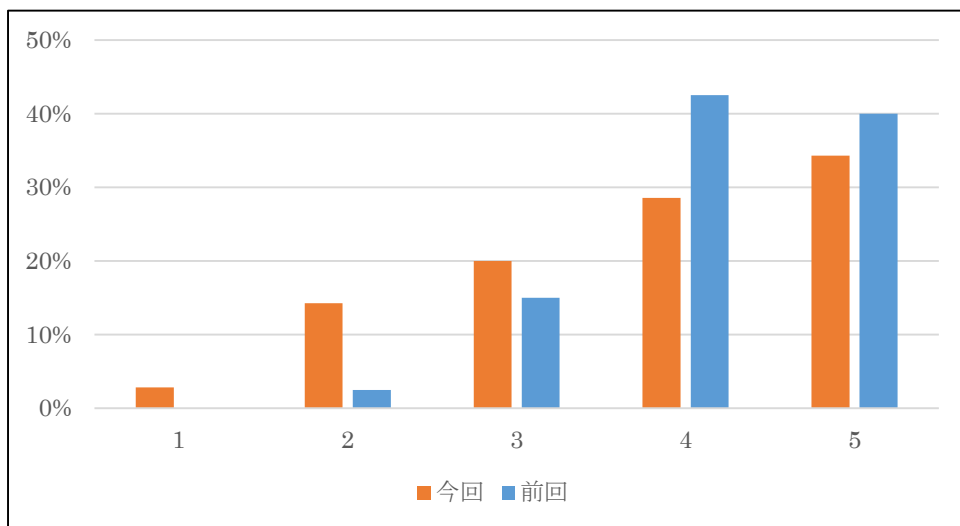


1：非常に高い 2：高い 3：普通 4：やや不足 5：不足

「1：非常に高い」と「2：高い」が前回の36%から54%へ大きく増加し、半数以上の学生は日本語による適切な返答ができる能力が身についたと評価している。また、「4：やや不足」と「5：不足」も前回18%から3%へ大きく減少し、改善の傾向にある。

### C-3

#### 英語による基礎的なコミュニケーションができる。



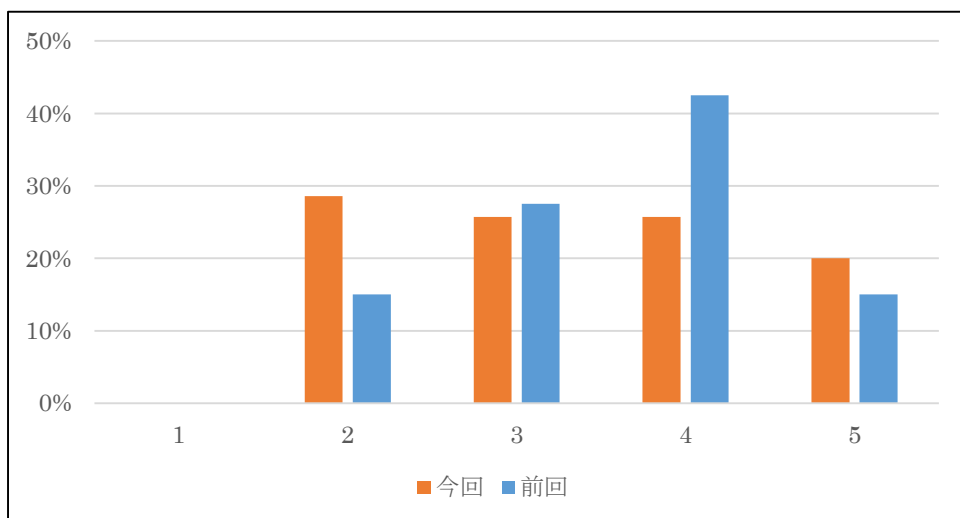
「1：非常に高い」と「2：高い」の肯定的な回答が前回の3%から17%へ大きく増加し、英語によるコミュニケーション能力の向上が図られつつある。

また、「4：やや不足」と「5：不足」の否定的な回答が前回の83%から63%へ大きく減少したものの、依然肯定的な割合を大きく上回っているため、学校全体での重点的な英語教育の取り組みが必要である。

1：非常に高い 2：高い 3：普通 4：やや不足 5：不足

### C-4-1

#### 基礎的な技術英語の文章を読むことができる。



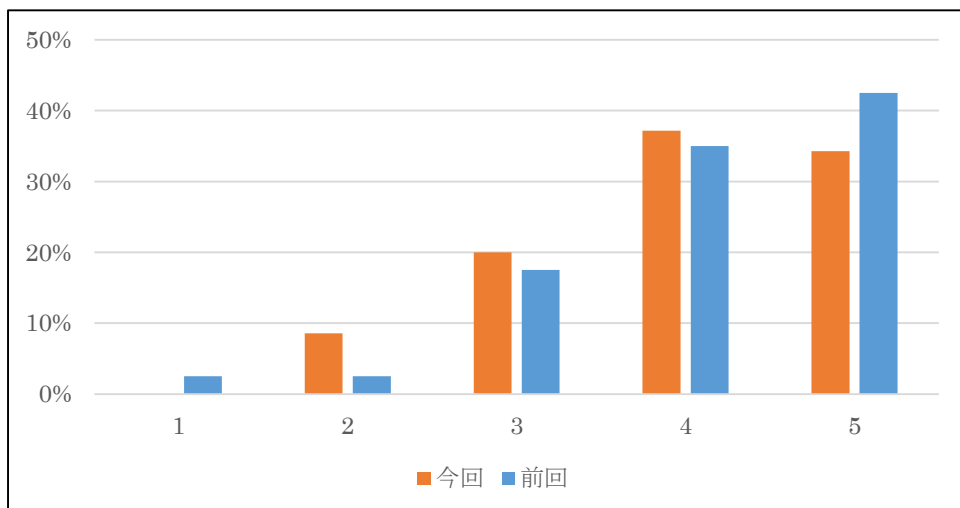
「1：非常に高い」と「2：高い」が前回の15%から29%へ大きく増加し、技術英語の文章を読むことができる能力の向上が図られつつある。

また、「4：やや不足」「5：不足」が前回の58%から46%へ大きく減少したが、依然肯定的な割合を大きく上回っているため、英語能力の底上げを図る取り組みが必要である。

1：非常に高い 2：高い 3：普通 4：やや不足 5：不足

### C-4-2

#### 基礎的な技術英語の文章を書く事ができる。



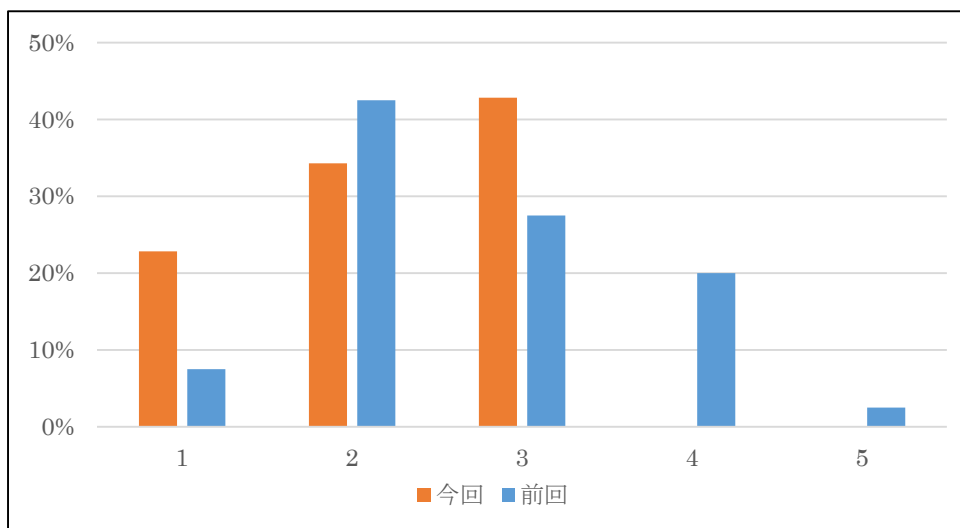
「1：非常に高い」と「2：高い」の肯定的な回答が前回の6%から9%へ僅かに増加し、技術英語の文章を書くことができる能力の向上が図られつつある。

また、「4：やや不足」「5：不足」の否定的な回答が前回の78%から71%へ減少したものの依然肯定的な割合を上回っているため、学ぶ英語から使う英語の能力を身につけるための改善が必要である。

1：非常に高い 2：高い 3：普通 4：やや不足 5：不足

### D-1-1

自分で具体的な計画や手順を決めて基礎的な実験を実施することができる。

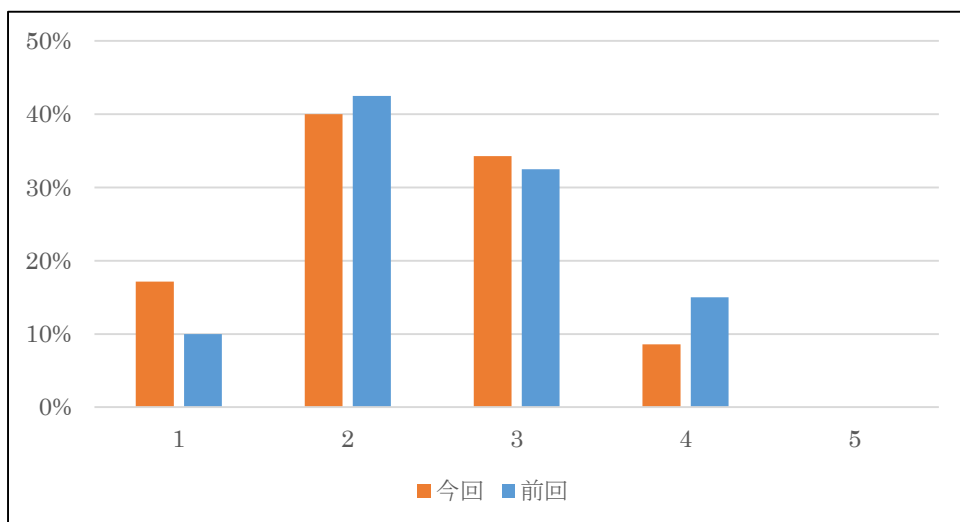


1 : 非常に高い 2 : 高い 3 : 普通 4 : やや不足 5 : 不足

「1 : 非常に高い」と「2 : 高い」は前回 51%から 57%へ増加し、半数以上の学生は自分で計画や手順を決めて実験を実施することができる能力が身についたと評価している。  
また、「4 : やや不足」と「5 : 不足」は前回の 23%から 0%へ大きく減少し、改善の傾向が顕著に現れている。

### D-1-2

得られた結果を正しく評価・解析して考察し、論理的に説明できる。

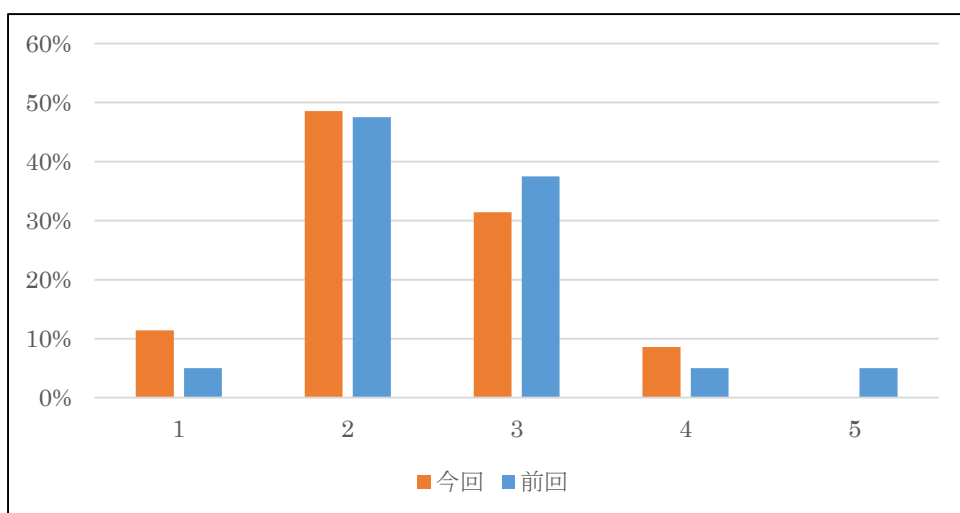


1 : 非常に高い 2 : 高い 3 : 普通 4 : やや不足 5 : 不足

「1 : 非常に高い」と「2 : 高い」が前回の 53%から 57%へ増加し、得られた結果を正しく考察し論理的に説明できる能力を身につけていると評価している。  
また、「4 : やや不足」と「5 : 不足」は前回の 15%から 9%へ減少し、改善の傾向にある。

### D-2-1

いくつかの専門分野の知識や利用可能な情報・技術・手段を駆使することができる。

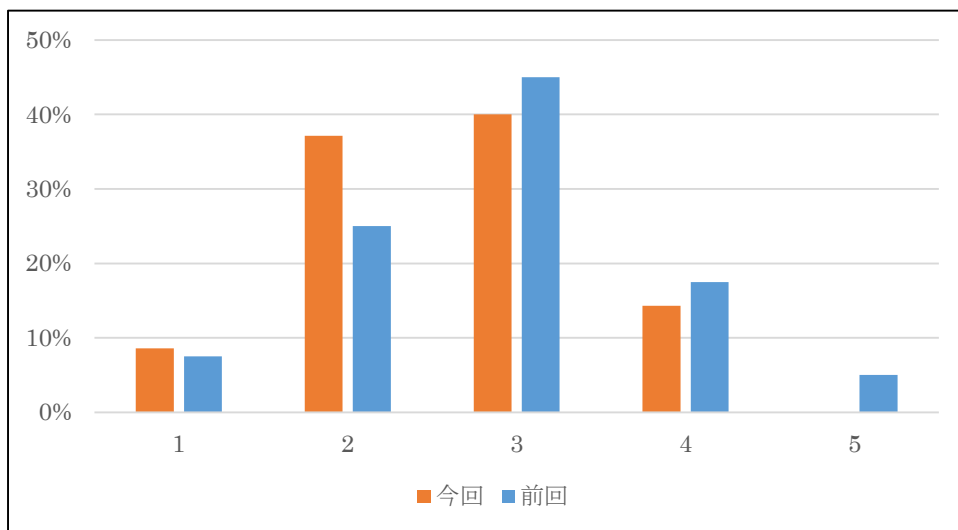


1 : 非常に高い 2 : 高い 3 : 普通 4 : やや不足 5 : 不足

「1 : 非常に高い」と「2 : 高い」は前回の 53%から 60%へ増加し、様々な知識や情報・技術・手段を駆使することができる能力が身についたと評価している。  
また、「4 : やや不足」と「5 : 不足」が前回の 10%と 9%へ僅かに減少し、低水準を維持している。

#### D-2-2

創造性を発揮して、調査・解析をおこない、解決策を組み立てて実行し、課題を解決できる。

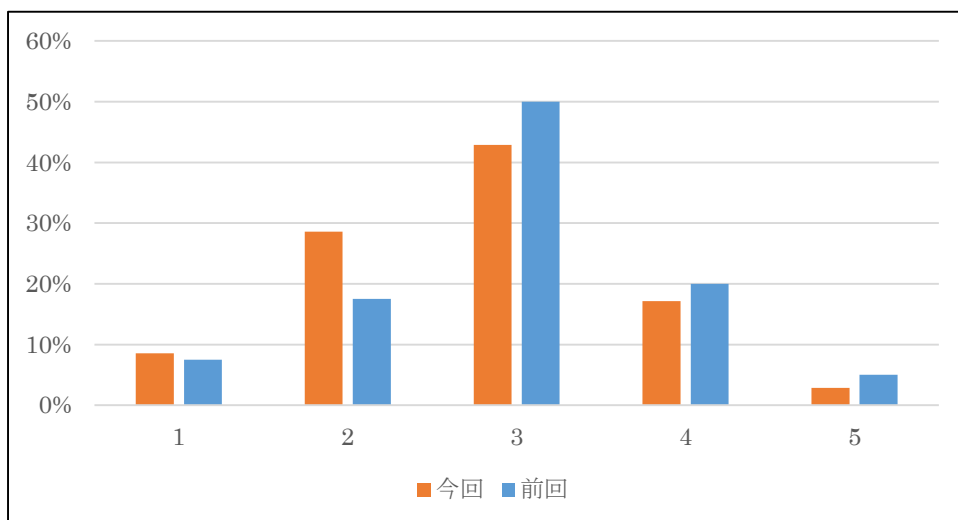


「1：非常に高い」と「2：高い」が前回の33%から46%へ大きく増加し、半数近い学生が創造性や解決策を引き出し、課題を解決できる能力が身についたと評価している。一方、「4：やや不足」と「5：不足」が前回の23%から14%へ減少し、改善の傾向にある。

1：非常に高い 2：高い 3：普通 4：やや不足 5：不足

#### D-3

社会の要求する課題を解決するにあたって、その内容を分析して、計画や方策を複眼的にデザインできる。

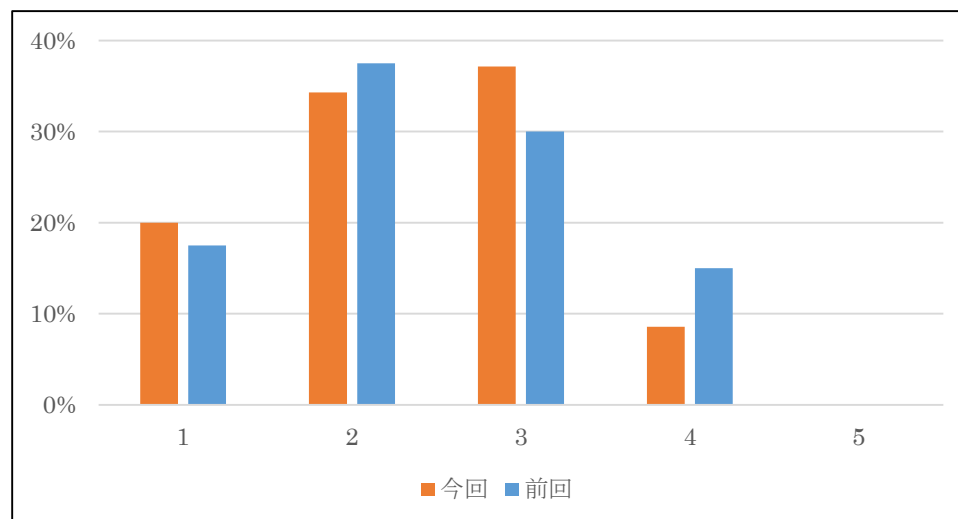


「1：非常に高い」と「2：高い」が前回の26%から38%へ大きく増加し、社会の要求する課題を解決するための方法をデザインできる能力の向上が図られつつある。また、「4：やや不足」と「5：不足」が前回の25%から20%へ減少し、改善の傾向にある。

1：非常に高い 2：高い 3：普通 4：やや不足 5：不足

#### D-4

実践的能力を身につけ、技術者が経験する実務上の問題や課題を理解して適切な対応ができる。

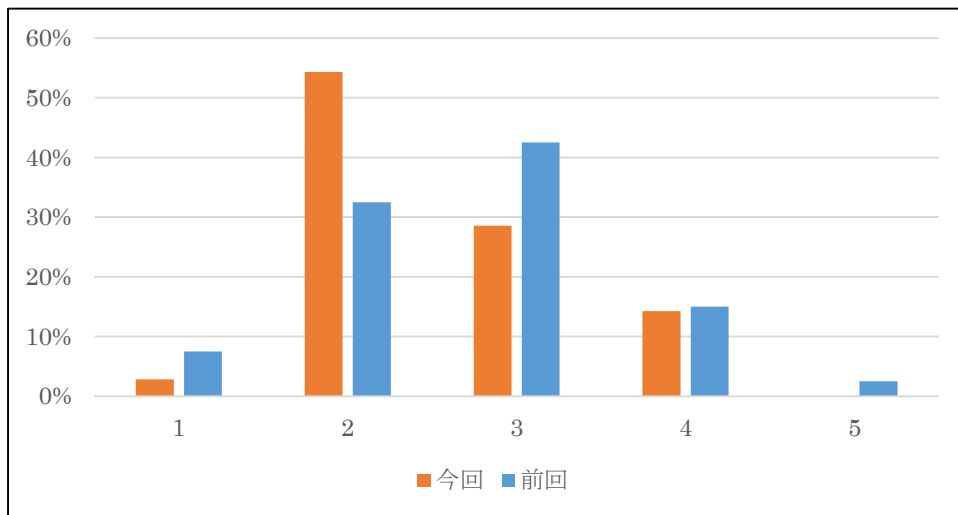


「1：非常に高い」と「2：高い」が前回の56%から54%へ僅かに減少しているが、半数以上の学生は実践力を身につけ問題や課題に適切な対応ができる能力が身についたと評価している。また、「4：やや不足」と「5：不足」も前回の15%から9%へ減少し、改善の傾向にある。

1：非常に高い 2：高い 3：普通 4：やや不足 5：不足

### E-1

社会の要請に迅速に対応し、科学技術の進展を先導するため、自主的・継続的に学習できる。

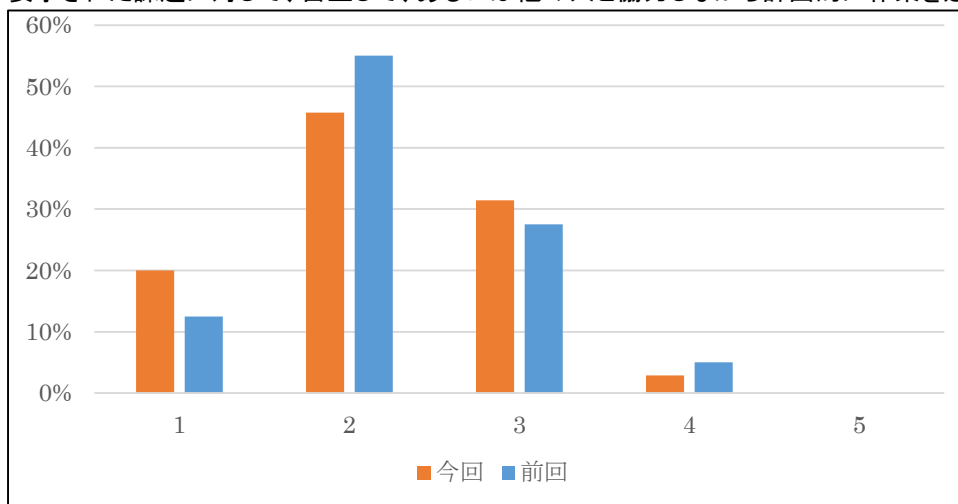


「1：非常に高い」と「2：高い」が前回の41%から57%へ大きく増加し、半数以上の学生は社会の要請・科学技術の進展に対応するため自主的・継続的な学習ができる能力が身についたと評価している。また、「4：やや不足」と「5：不足」も前回の18%から14%へ減少し、改善の傾向にある。

1：非常に高い 2：高い 3：普通 4：やや不足 5：不足

### E-2

要求された課題に対して、自立して、あるいは他の人と協力しながら計画的に作業を進め、期限内に終わらせることができる。

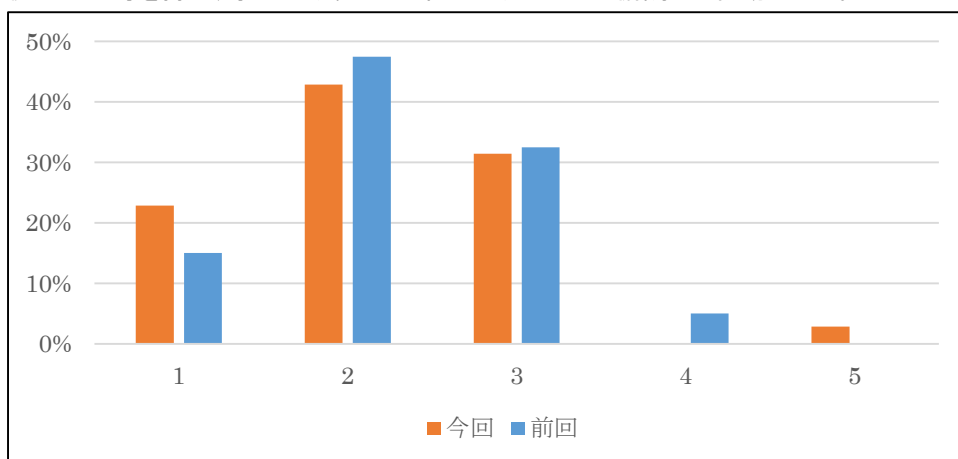


「1：非常に高い」と「2：高い」が前回の63%から66%へ僅かに増加し、半数以上の学生は課題に対して自立し他の人と協力して期限内に終わらせることができる能力が身についたと評価している。また、「4：やや不足」と「5：不足」も前回の5%から3%へ減少し、改善の傾向にある。

1：非常に高い 2：高い 3：普通 4：やや不足 5：不足

### E-3

健全な心身を持ち、学内外(あるいは社内外)の人々と協調して行動できる。



「1：非常に高い」と「2：高い」が前回の63%から66%へ僅かに増加し、半数以上の学生は健全な心身で学(社)内外の人と強調して行動できる能力が身についたと評価している。また、「4：やや不足」と「5：不足」も前回の5%から3%へ減少し、改善の傾向にある。

1：非常に高い 2：高い 3：普通 4：やや不足 5：不足